

ハマンモス決起集会

マンモス都知事選では、候補の決起集会にも三万人が。(武道館で)



信州人を追って

0.7.0

都外都民も熱い視線

東京には、都外から都内に通勤している人が、ケタ外れに多い。国勢調査(五十年)によると、さりと二百万人。長野県の総人口に匹敵する人たちが、日中だけ都内で過ごす。都外都民だ。

都知事に注文したいことはいっぱいある。住宅事情から埼玉に住んで、生活実態は都民と変わりません」と、選挙権を持たない「大都市財政のひび」道は、住居を

は、一人当たり百万円の負担増を強いられた計算だ。知事選が告示される前の先月九日、参議院予算委員会で共産党の上田耕一郎氏が「大都市財政のひび」道は、住居を

外から丸ノ内の銀行に通う長田芳夫さん(三十三)長野市出身。「そり、都内に住みたい。けど、都営住宅は入れないし、都内のアパートは高い。いすれ信州へ帰るつもりだからマイホームを建ててもまだ増えそうな実行きた。市街地再開発で、安い住宅を作る政治力のある知事が出てこないか、期待しているんだ。

埼玉県所沢市から池袋のデパートに通う池田雄一さん(三十一)松本出身も、「住宅のこと、通勤ラッシュのこと、車公費のこと。

野県では、県内に職を持つながら、都外に住んでいる人は三千二百人余り、全人口の〇・二％にもならない。が、一票を持たない悲しきで、白地帯に置き去りにされているのが現状。(おわり)



私の一票
よくよく考えて
中野区立東大教授(三十一)松本市出身
投票する人もよくよく考えてから決まらうと思っています。